



秋田県五城目町

みんなの町議会

目次

- 議員のメッセージ..... 2～3
- 臨時会・各常任委員会の構成 4～5
- 3月定例会の経過..... 6
- 陳情・全員協議会..... 7
- 常任委員会の焦点..... 8～9
- 一般質問に6名登壇..... 10～16
- あれ なんとなったべが！ 17
- よぐきてけだな・がんばってます 18

No.142

2020年5月1日

小学校建設を桜も応援

伝えます!!

14人のメッセージ～

3月29日投開票の五城目町議会議員選挙において、新人3人を加えた新たな14人の顔ぶれが決まりました。
任期当初の意気込みをぜひともご覧ください。



私の決意

～新たな顔ぶれ



を加えた 構成が決まる

第1回
臨時会
4月3日

臨時会の概要

4月3日午前10時より
改選後初の臨時会が開か
れた。議員は4年の任期
の最初と最後にしか開く
ことのない本会議場正面
入口から、身の引き締ま
る思いで入場。

最年長者である館岡隆
飯議長のもと、議員と町
執行部が自己紹介。その
後、議事日程に従い正副
議長の選出を単記無記名
投票で行った。

議長選

石川	交三	8票
佐藤	重信	5票
白票		1票

副議長選

伊藤	正春	8票
石井	光雅	6票

結果、議長に石川交三
氏、副議長には伊藤正春
氏の就任が決まった。地方
自治法『103条の2、議
長及び副議長の任期』に

より任期は4年。

その後各常任委員会、
議会運営委員会、議会広
報編集委員会の委員を選
出し、それぞれの正副委
員長を互選した。

なお、議会の正副議長
と運営委員長は議会三役
と呼ばれる。

八郎湖周辺清掃事務組
合議会議員には、館岡隆
氏、佐藤重信氏を選出。

当局提案の監査委員
は、荒川正己氏に同意し
た。



新たな顔ぶれでスタート



議長
石川 交三

議会活動の指針である地方
自治法は改正前に「住民と滞
在者の安全、健康及び福祉を
保持すること」を地方自治体
の責務とし、その精神は不動
のものです。要は、町民の命
と暮らしを守ることこそ本来
の町の仕事としております。
今、新型コロナウイルスが

猛威をふるっており、まさに
国難であります。こんなとき
だからこそ、町民の安心・安
全を守る町と議会の役割は鋭
く問われています。
議会運営は公平・公正が原
則であり、議会制民主主義の
立場から少数意見の尊重も重
視すべきは当然であります。
町当局に対しては是非々々
を基本とし、積極的な政策提
言も求められております。
町民各位のご指導・ご協力
をお願い申し上げます。



副議長
伊藤 正春

この度は副議長の重責を担
うことになり身に余る光栄で
あり、その責任の重さを痛感
しているところです。

当町は人口減少によりさま
ざまな課題を抱えておりま
す。基幹産業の振興、移住・
定住、子育て支援、行財政改
革の着実な実行、医療・介護、
福祉の充実など多岐にわたっ

ています。
これらの課題に真正面から
向き合い町民に寄り添いなが
ら実効性のある施策に取り組
んでいく必要があります。

二元代表制の一翼を担う議
決機関として町民の負託に応
え、活発な議会活動を通して、
その使命を達成できますよう
円滑な議会運営に努め町政発
展のため、石川議長を補佐し、
微力ながら努力していく所存
であります。

町民各位のご指導、ご鞭撻
をお願い申し上げます。就任
の挨拶とさせていただきます。

新人3人 新しい議会

議会運営委員会

- 議会の運営、会議規則、委員会に関する事項
 - 議案（条例、予算、契約）及び請願、陳情に関する事項
 - 議長の諮問に関する事項
 - その他、議会運営に関する事項
- これらを円滑に進めるため協議する

委員長 佐々木仁茂
副委員長 斎藤 晋
委員 荒川 正己
委員 石井 光雅
委員 荒川 滋
委員 椎名 志保



総務産業 常任委員会

- 総務課
まちづくり課
- 税務課
出納室
- 選挙管理委員会
- 農林振興課
商工振興課
建設課
- 農業委員会の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に係る事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- 他の常任委員会の所管に属さない事項
これらの審査を行う

委員長 石井 光雅
副委員長 荒川 滋
委員 館岡 隆
委員 佐藤 重信
委員 伊藤 正春
委員 畑澤 洋子
委員 佐々木仁茂

教育民生 常任委員会

- 教育委員会
住民生活課
健康福祉課
- 消防本部の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に係る事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
これらの審査を行う

委員長 椎名 志保
副委員長 松浦 真
委員 石川 交三
委員 荒川 正己
委員 斎藤 晋
委員 斎藤 途子
委員 工藤 政彦

監査委員

荒川 正己

議会広報編集委員会

- 住民と議会との意思疎通を図り、相互の信頼を培う
- 町民にとって分かりやすく親しみやすい広報づくりに徹する

委員長 荒川 滋
副委員長 工藤 政彦
委員 畑澤 洋子
委員 佐々木仁茂
委員 椎名 志保
委員 松浦 真
委員 工藤 途子

八郎湖周辺清掃事務組合

- 男鹿市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村の5市町村で組織する組合で、男鹿市松木沢の八郎湖周辺クリーンセンターの管理運営に関する予算や事業の審査をする

議員 館岡 隆
議員 佐藤 重信

議会の経過

3月定例会は3月2日から9日まで8日間の日程で開かれた。

初日 渡邊町長は施政

説明で、『湖東厚生病院は地域にとって今後も必要な病院であり、県、厚生連、地元4町村が連携しながら存続に努めたい。』

令和2年度の一般会計当

初予算案は、限られた財政の効率的な配分と歳出の効率化を図り、「歳出再チェック」を目標として持続可能な行財政運営に資する編成を方針に掲げた。

まち・ひと・しごと創生

総合戦略は、これまでの5年間で、地方創生に対する一定の成果が得られた。しかし、人口減少には歯止めがかかっておらず、今後戦略的に取り組みを推進する必要がある。第2期総合戦略を策定した。しごとづくり・移住定住対策・少子化対策・地域づくりの4つの基本目標を掲げ着実に実施する。

供用開始から30年を経過した火葬場の大規模改修は令和3年度に工事着手したい。

2月7日に新型コロナウイルス

イルス感染症危機準備室を設置し情報の収集と提供に努めている。(その後、3月9日に対策本部に移行した。)

第8期町介護保険事業計画策定では、県内一高い保険料抑制のための事業推進に重点的に取り組む。

昨年11月より事業者(ド

コモCS)と協議を行っている森山の管理道路については、安全のため一般車両の通行を遠慮いただく看板を4月頃に設置したいと考えている。

朝市の活性化には危機意

識を持つて取り組む。悠紀の国五城目の自然観察園整備に着手する。』などと述べた。

2日目 一般質問には6

名が登壇。除雪、産後ケア、湖東厚生病院、朝市の再生振興、男女共同参画社会の

推進、まちづくりに関してなどを質問した。

3日目 当局より『令和

2年度一般会計予算案、介護保険条例の一部改正』など21件の議案提出。

4日目 提出された議案

を各常任委員会で審議。

最終日 委員長報告のあ

と、人事案件を含む全議案を認定、可決した。また陳情3件を全会一致で可決、委員会提出議案3件を可決し閉会した。

閉会后、勇退を表明の小林正志議長に花束が贈呈された。



長きにわたりお疲れ様でした

令和2年度の
主な予算

- 五城目小学校改築関連 18億5,750万円
- こども子育て支援 2億2,091万円
- 地方道路整備事業 6,694万円
- 森林環境譲与税事業 3,030万円
- 地域公共交通事業 1,989万円
- ハザードマップ作成 519万円



10月末の完成目指し工事が進む五城目小学校新校舎

陳情と意見書

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

採択

◆最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 石川 洋基

秋田県労働組合総連合

議長 加賀屋俊悦

採択

◆公立学校に『1年単位の変形労働時間制』を導入する条例制定に反対する陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 石川 洋基

秋田県労働組合総連合

議長 加賀屋俊悦

採択

◆日本政府に対して、国連の『沖縄県民は先住民族』勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情

(二社) 日本沖縄政策研究

フォーラム

理事長 仲村 寛

人権擁護委員の推薦に同意

新任

佐々木 聖子氏(67)

岡本一区



議会議員全員協議会

第1回 令和2年1月10日

会場：役場2階正庁

協議事項

①五城目町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について

②第2期五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について
③地域公共交通について

第2回 令和2年2月17日

会場：役場2階正庁

協議事項

①五城目町手数料条例の一部改正について
②五城目町斎場改修基本構想について
③五城目町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部改正について
④第2期五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

報告案件

①国保高額医療費共同事業・保険財政安定化共同事業の算定誤りについて

※議会議員全員協議会とは

議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場であり、議員と町長はじめ町執行部が出席して行われる。昨年は5回開催された。主宰は議長。



令和3年度から改修予定の斎場

総務産業 常任委員会

令和2年度から 浄水場業務を業者委託へ



安全で安定した管理が求められる浄水場

五城目町水道事業では、令和2年度より会計年度任用職員制度の導入により、浄水場作業員の勤務体系（勤務時間、人数、日数）をこれまでどおり維持することが難しくなったため、業者への委託することになった。

これにより、機械設備等に精通している業者が受託することで、異常時の迅速な対応やこれまでの対処的修繕から予防的修繕が可能になる。

委員 これまで雇用してきた作業員を業者へ移行するところがあるかどうか。

当局 将来的には修繕を含めた一部委託を見据えているが、2年度は作業員のみを委託する。この業者に委託したとしても、全く知らない施設とならないように今の作業員の経験を活かす形で雇用してもらう。

今後は浄水場の運転だけでなく、機械設備のメンテナンスや軽微な修繕等を盛り込んだ委託体系にし、これまで以上に安全で安定した浄水場運営を目指していく。

道の駅の自然観察園 2か年計画で整備

「道の駅五城目」開設から18年が経過し、自然観察園は歩道などの既存施設が経年劣化による機能低下が顕著となり、2か年計画で補修や新規整備をすることになった。

令和2年度は1,223万円の予算で、調査測量設計と設備工事として、修景施業・歩道補修・管理道路補修などを行う。3年度は自然観察園のシンボルである「モミの木広場」に合成木材デッキステージ等を整備する予定。

これらの整備で、道の駅



自然観察園のシンボル「モミの木広場」

五城目及び農林水産物直売所・食材供給施設と一体的に活用することにより相乗効果が図られ、賑わいのある道の駅になることが期待される。



窮屈な駐車場が整備される

これまで地域活性化支援センターへのアプローチと駐車場が狭かったことから、令和2年度当初予算で、駐車場の拡張、拡張が実施される。

車両交差スペースの確保、バス等の通行にも対応できるよう敷地内低木の伐木などによる拡張とともに、施設入居者、来場者の利便性向上のため、駐車場スペースの拡張工事が行われる。これにより20台程度の駐車スペースが増える見通し。

地域活性化支援センターの駐車場拡張

教育民生 常任委員会

新校舎利用開始時期は 慎重に

五城目小学校新校舎建設工事が順調に進んでいる。今年度は残り約7割の工事を行い、10月末の完成を目指すとしている。

また、新校舎敷地内に併設する木造平屋建ての学童棟の工事もこれから始まり、11月末の完成を目指す。

委員から新校舎の利用開始時期についての質疑があり、当局からは「工事は順調に進捗しており、早ければ来年1月頃からの利用を考えているが、新型コロナウイルスの影響で資材不足などになった場合、工事に遅れが出る可能性もある。利用開始時期についてはあくまで予定である」と説明があった。

また、委員から「雪のある1月や2月からの利用は、通学路やスクールバスのコースの変更が伴い、困難ではないか。すぐに新年度を迎えることになるので、急がず慎重に新年度からの利用も検討すべきだ」との意見も出された。

職員駐車場として新規に取得する休耕田は、普通車70台分が駐車できるよう隣接する第4駐車場とつなげて整備するとしている。



順調に進む建設工事

機能別消防団員の活動に期待

町消防団の定員を基本団員・機能別団員それぞれの枠を取り払い、合わせて205人とする。

基本団員の減少に歯止めが利かず、活動が困難な分団も出てきており、機能別団員を増やし、団全体の人数を確保するものである。

委員からは「機能別団員は

国保基金 住民に添う運用に

12月定例会で否決となっていた五城目町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例制定案は「国民健康保険税水準の著しい上昇の抑制」の文言が加えられ、これまで議会が求めてきた住民の負担を軽減するという目的が達せられることとなった。

また、処分規定においては、このたびの国保連の誤りによる返還金の発生など不測の事態への対応、国民健康保険事業費納付金の納付、保健事業の拡充などの財源として処分することができ、柔軟かつ弾力的運用が可能となるよう改正された。

委員からは「使い方が明確になった」などの意見があり、全会一致で可決すべきものと決した。

災害発生時にのみ駆け付けるものであり、基本団員のOBであっても、日頃の訓練なくしては実災害ですぐに活動できるのか不安視される」との意見があり、担当からは「今後機能別団員に対しても訓練を実施したい」との説明があった。



地域を守る消防団

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

斎藤 晋 議員

- 除雪について
- 新型コロナウイルス対策について
- 五城目小学校の通学路及びタクシー・バス等の送迎について
- 子育て支援について
- 高齢者支援について

畑澤 洋子 議員

- 妊婦の新型コロナウイルス感染症の予防対策を
- 市町村に産後ケア事業実施の努力義務を規定した改正について
- いじめの相談・自殺防止をスマートフォン活用の「ライン相談」で
- 「ご当地マンホール蓋」で地域に賑わいを

石川 交三 議員

- 湖東厚生病院を存続・発展させよう
- 教育システムの構築と教員の变形労働時間制について
- 国民健康保険税に関連して問う
- 合葬墓の整備を検討しよう
- 補聴器へ補助を

荒川 滋 議員

- 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 昭和50年に一部開通した雀館幹線の延長を
- 町職員、地域パトロールの自覚と地元在住を進めるべき
- 急務である、朝市と商店街の再生振興
- 水道事業の今後
- 一般が使用できる野球場と屋内練習場の整備を
- 新型コロナウイルスについて
- 森山の管理道路について

椎名 志保 議員

- 第2期 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 農業の今後について
- 男女共同参画社会の推進について

佐藤 慶彦 議員

- まちづくりに関して
- 行政計画などに関して
- 公共施設に関して
- 災害対策について

*誌面の関係に掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください。)



- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入。)
手指の消毒剤あります。



- ④町の方向性を直接聞くことができます。
開会中はお静かに願います。



- ③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



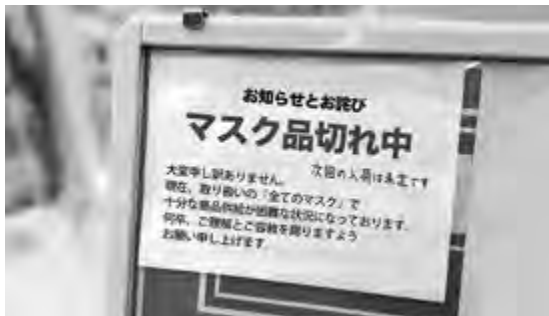
※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。 お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

新型コロナウイルス対策 備蓄は万全か

あなたにかわって
聞きました

一般質問

町長 マスク500枚・アルコール消毒剤4本



マスクも消毒剤も買えません



斎藤 晋

斎藤 新型コロナウイルス対策は大丈夫か、マニュアルはあるのか。

町長 対策として、令和2年2月7日に「五城目町新型コロナウイルス感染症危機準備室」を設置し相談窓口や感染症対策などについて、随時ホームページで情報提供をしている。マニュアルは無いが、

国や県の指導を基に感染拡大に向け対策を考える。
斎藤 新型コロナウイルス対策でマスク・消毒剤の備蓄はあるのか。

町長 現時点で、マスクの備蓄は500枚、手指消毒用アルコールは500ML容器4本。マスクと消毒剤を注文していますが、入荷は未定。
(3月3日時点)

子育て支援は、思い切った独自の支援策を実施すべき

斎藤 他の自治体では出来ない金額にすべき。(出産祝い金・子育て支援金・高校入学支援金・大学入学支援金など)
町長 少子化対策と移住・定住対策において、思い切った支援策により、他市町村との差別化を図ることは重要。また、経済的な支援についても必要性はあると思う。しかし、財政的な負担が大きく実施については十分な検討が必要。先進事例や既存支援制度など調査し、その施策の可能性を検討したいと思う。



町の宝・町を背負って立つ子どもたち

買い物弱者が多い高齢者を今以上に支援をすべき

町長 浅見内地区住民による「お互いさまスーパード」の立ち上げを内閣府の交付金などを活用し、県とともに支援している。今後ともそれぞれの地域の課題の解決のため取り組みを支援する。また、シルバー人材センターの日用品の購入などのお手伝いをする「ワンコインまごころサービス」を実施しており、このようなサービスを活用する事も、高齢者の日常生活の支援に役立つと考える。



高齢者でにぎわうお互いさまスーパー

- その他に
- 除雪の出動回数は費用は
 - 除雪の最低保証は
 - 除雪最低保証の算出方法は
 - 来年度の除雪業者の確保は大丈夫か
 - 新型コロナウイルス対策でイベント・大会・会議の中止や延期をどう考える
 - 新小学校的通学路はどうなる
 - 新小学校的通学バス・タクシの送迎範囲は
 - 新小学校的通学バス・タクシーの費用は
 - 高齢者の通院支援策はを質問しました。

新型コロナウイルス感染症 妊婦の感染予防対策を

一般質問

町長「ごっこナビ」で感染予防策を配信



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤

中国で新生児が新型コロナウイルスに感染していた

ことで、胎内感染を疑ったが可能性は低いと判断した。しかし妊婦が感染すると重症化

することがある。世界中の妊婦の不安の度が増した。妊婦に自宅で使用する「手指消毒

用アルコール・マスク50枚」を無料配布する自治体もある。「無事出産できるまで支

援します」と意思表示を込めて町でも対応してはどうか。

町長

全妊婦へ配布するには足りない状況にある。母子手帳アプリ「ごっこナビ」で随時情報発信し注意喚起を促す。

畑澤

町の縫製会社で布製マスクを作る方法もある。対応してほしい。

産後ケア事業実施に努力を

畑澤

法改正にて産後ケア事業を、母子保健法上に位置づけし、これまで実施していな

い市町村に努力義務を課した。平等に産後ケア事業を利用できる体制作りが必須。町で不足している部分をどう進めるのか。

町長

関係機関と連携を図り、令和3年度からの事業実施をめざす。



新米ママの育児は不安がいっぱい

ご当地マンホール蓋で地域に賑わいを

畑澤

「下水道広報プラットフォーム」は、下水道への理解・関心を深めるコミュニケーションツールとして「マンホールカード」を全国の地方公共団体と一緒に発行している。直接町に来て貰えるカードを町の賑わいづくりの一環として作成し利用してはどうか。

町長

町内及び県内外から一切町への問い合わせは無い。今後問い合わせが来たら検討する。



町の下水道マンホールの蓋

いじめ相談・自殺防止をライン相談で

畑澤

電話で相談する方法は多々あるが、文章を打ち込むだけのライン相談が広がっている。保健所を核として広域でライン相談が可能な体制を作るよう、当町が主導し実現してはどうか。

町長

県内では18歳未満の子ども専用電話「チャイルドライン」があり、秋田市のNPO法人「蜘蛛の糸」では、来年度から30代までの若者を対象としたライン相談が始まる。町では県や民間の機関と連携し相談窓口の周知に努める。

あなたにかわって
聞きました

一般質問

湖東厚生病院を守る 具体的な手立てはなにか

町長 病床100床を守り、患者や住民が
不便とならないようにする



石川 交三
(日本共産党)

石川 厚労省が再編・統合が必要として公表した全国424の病院に湖東厚生病院が含まれた。町長は「何としても守る。死守する。」と明言したが、具体的にはどうするのか。

町長 湖東厚生病院運営委員会で「病院は地域医療の拠点として必要な病院である」と、県、厚生連、4町村で確認した。規模変更せず、急性期56床、回復期44床の機能は患者数・稼働率の実績を踏まえ再検証し、住民からは従来と何も変わることなく入院・外来とも不便が生じないように対応する。

石川 医師の確保策はもとより、現病院長はじめ、職員との懇談・激励が重要だ。病院



地域になくてはならない湖東厚生病院

の存続・発展の道筋を示してほしい。

町長 運営委員会や三者協議会などにより、懇談・激励を行っており、病院長をはじめとする職員の病院運営に対する強い熱意に対して敬意を払っている。

「病院まつり」は、地域とともに歩もうとする病院の職員が丸となって地域住民のために開催しており、多くの住民が参加され、地域医療に対する取り組みを理解いただ

ければ、相互作用として病院が長く存続・発展するものと考えている。高齢化と人口減少が進む中で「なくてはならない病院」として、信頼され愛されるよう、存続に努める。

石川 医師・看護師不足は全国的な問題だ。一冊の本との出会い、体験や言葉ひとつなどから医療の道に進む場合がある。五一中では職場体験を実施しているが、医療現場で日々励んでいる病院長やスタッフの講演を企画・実施してはどうか。

教育長 現在、五一中では町内22の事業所で1・2年生が職場体験をしたり、同窓会と連携して職業講話を実施している。湖東厚生病院でも体験を通して人との接し方を学んだり、放射線技師や薬剤師の仕事に興味を持ち、調べるなど成果を上げている。生徒たちの医療への関心が高まることを期待している。

院長やスタッフからの職業講話については、実施に向けて学校と調整していく。

教員の変形労働時間 制導入は選択すべき ではない

県教育委員会は
条例制定を
見送る

教育長

石川 学校の先生の長時間労働（多忙化）はぜひぶんと以前からの問題だ。政府は公立学校の教員に「1年単位の変形労働時間制」を導入可能とする法案を成立させた。1日8時間労働制の原則を崩し、繁忙期と閑散期を設定したうえで、繁忙期の時間を延ばして（最大1日10時間）閑散期の労働時間をその分、短くする。人間は寝だめや食いだめはできない。健康と暮らしにとって問題のある制度だ。

教育長 文部省初等中等教育局長から通知があり、県教育委員会では条例制定を見送ることにし、慎重な検討が必要だとの見解を示している。

一般質問

町職員は 町に居住すべきである

町長 町在住・出身者の受験を
強く望んでいる



荒川 滋

町職員採用時に、
町居住要件の取り
決めをすべきだ

荒川 人口減少、地元での雇用確保、地域の現状把握のためにも、町職員は町に住むべきで、今後職員採用に当たり町独自の取り決めが必要だ。

町長 令和元年度町職員採用試験に応募した24名のうち町外からの申込者が18名。居住要件は定めていない。町内に住や町出身の意欲ある方の受験を強く望んでおり、採用試験の周知に努める。有事の際の駆けつけなど重要な課題であり、今後、有効な方策を検討する。

現在職員134名中、町外在住者は30名。

小学校改築に地元は
活かされているか

荒川 小学校改築事業での地元業者の参加、地元産木材使用について、これまで何度も要望してきたが現状は。

町長 入札参加者には事前に町内業者への受注機会の拡大、地元産材調達を要望した。落札業者の株長谷駒組にも同様の要請をしている。板金、ガラス、型枠、塗装、設備など多岐に渡り多くの地元業者が携わっている。地元産木材の使用についても働きかけていく。

雀館幹線の延伸を
図るべき

荒川 小中学校の連携推進、消防出動の効率化、災害時の国道285号線迂回ルート確保をふまえ、雀館幹線の延伸を図るべきだ。

町長 計画延長2,500mのうち1,379mが改良済み。延伸整備により利便性は格段にあがると予想されるが、2分の1の国交付金を受

けることができるとしても、事業費は膨大なものとなり現在凍結状態である。

朝市の再生は
待ったなしの状況だ

荒川 新たな取り組みが行われている一方で、通常の定期市は大変な苦戦が続いている。平成30年に出店者懇談会が開催されたが、そろそろ町としての方向性を示すべき。朝市継続のための手立ては急いで進めなければ手遅れになる。どのように進めるか。

町長 出店条件の緩和を継続し新規出店者の掘り起こしに努める。八戸市や雫石町などの成功事例を参考にしながら、関係団体との連携を一層深め取り組む。



急務である朝市再生対策

森山の管理道路
『通行自粛看板』
設置見直しを



町と人で温度差を感じる森山の価値感

荒川 NTTドコモとの協議の末、安全確保のため一般車の通行自粛を求める看板を4月に設置予定だが、いったい誰が望んでいるのか。注意を促す内容の看板に変えるべき。

町長 頂上からの眺望は素晴らしいものである。しかし通行量が増すと頂上の駐車スペースは狭く、車両交差もままならないなど事故のリスクが増える。看板の内容変更については、ドコモ側とも協議する。

一般質問

積極的な企業誘致活動を

町長 現在3社が検討を進めている



椎名 志保

椎名 第2期五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1「しごとづくり」

について、町民まちづくりアンケートで、若者の減少を抑えるための施策のトップに企業誘致が挙げられていた。また、大手企業は製造拠点を国内に回帰させる動きをみせている。

企業立地推進基金を活用し、積極的な企業誘致に取り組むべきでないか。

町長 現在、企業進出の検討を進めている事業が3件あり、今後協議を重ね、地域経済の活性化や雇用創出が実現できるよう対応していく。

椎名 基本目標2「移住・定住対策」について、八峰町では子育て世帯に町有地を無償で分譲することを検討している。空き地バンクの立ち上げと合わせ、住まいへの手立てに具体的に取り組むべきではないか。

町長 行政が土地の無償譲渡を行うことで、民間が行う宅地分譲と競業することになり、企業の事業活動を阻害することはできない。また、造成や管理に経費をかけた町有地を無償で提供できるほど財政的に余裕がない。空き地バンクについては、更なる精査が必要と考える。



整地されたままの五城目幼稚園跡地

椎名 学校が新しく建設される時が移住者を呼び込む絶好の機会だ。教育環境の充実を広く発信し、移住者を呼び込む手立てにはどうか。

町長 町の豊かな教育資源を生かし「五城目型教育留学」を開始する。児童生徒の受け入れ、関係・交流人口の増加や家族ぐるみでの移住・定住につなげていく。

椎名 基本目標3「少子化対策」について、すでに八郎

潟町が行っている小中学校の給食費の全額助成や、医療費の助成を高校生まで拡大できないか。

町長 周辺町村の動向を踏まえ、検討していく。

椎名 基本目標4「地域づくり」について、生活圏形成事業を進めていく上で、各地区の拠点である地区公民館を町長部局に移管し、地域活動に添うあり方にすべきではないか。

また地域の足として実用性が高いと思われる「自家用有償旅客運送」を進めてはどうか。

町長 地域住民による子ども食堂や地域食堂、山菜など地域資源を加工販売するGBビジネスといった事業が展開される中で、地域の拠点について、また地区公民館のあり方についても検討が必要と考えている。

「自家用有償旅客運送」は地域住民のニーズに応えやすく、収支率向上につながると考えられるが、地域住民が運転することで安全面の心配、タクシー事業者への考慮も必要となってくる。

現行のデマンド型乗合タクシーと併用して運行するなど検討が必要である。

農業の今後に真剣に向き合うべきだ

椎名 「あきた農地利用最適化推進1・2・3運動」のアンケート結果は、農家の高齢化や耕作放棄地の増加、担い手不足を嘆くものであった。

地域の実情に合った解決策につなげていくよう町としてもっと地域に入り、話し合いを持つなどすべきではないか。

町長 農地の集積・集約化を図ることを目的に「実質化された人・農地プラン」を各町内での話し合いにより進めている。

これまで以上に担い手不足の解消、農地の保全に努めていく。



五城目の農業、今後どうなる

あなたにかわって
聞きました

温水プールの財政負担が 大きすぎる

一般質問

教育長 利用者が増えるようPRする



佐藤 慶彦

佐藤 新年度予算約3,600

万円の屋内温水プールは町に
本来に必要な施設か。あまり
に財政負担が大きすぎる上、
利用者も年齢性別とも偏って
おり、公共性が低い。これだ
けの予算があれば住民が生活
のために本当に必要とする事
業が多数行える。

収支の改善が見られなけれ
ば総合管理計画に示されてい
る施設の耐用年数47年
(2027年)を目途に廃止
も検討すべきだ。

教育長 経営状況は、平成30
年度は歳入が1,095万円、
歳出が3,215万円で収支
率34・1%。

近隣町村へのPRや、広域
体育館内のトレーニング機器
との連携運動プログラムを策
定し、利用者増となるように
PRし、引き続き管理運営を



人口減少に合わせ、公共施設も縮小を

していきたい。

佐藤 上小阿仁村の買い物弱
者を支える移動販売車事業
(車両購入費418万円、委
託料350万円)のように生
活に本当に困っている人を助
ける事業こそ優先的に行うべ
きだし、税金の使い方として
シフトしていくべきだ。

その上で施設がある以上
は、収支が改善するよう努力
すべきだ。利用料の値上げだ
けでなく、追加料金でコース
の貸切制の導入や夜間といっ
た利用時間帯の見直しなど、
民間で無人の24時間ジムがあ
ることを考えれば参考になる
部分は多分にある。

曙町の水害対策を

佐藤 曙町の豪雨による水害
対策が必要だ。近年農水路の
U字溝敷設が急速に進んだこ
とから、排水スピードが上げ
り排水能力を超えた水が曙町
に貯まりやすくなっている。
また土地改良区でも大型の堰
改修工事があることから、今
後は土地改良区など関係団体
と情報交換や協議が必要だ。



冠水までの速度が上がっている

町長

曙町の平成30年5月の
被害は、住家の床下浸水が23
棟、非住家が1棟であった。
近年側溝改良工事があり、

流量も変化していることか
ら、直接的な因果関係は特定
できないものの、被害があつ
たことなどを含め、関係団体
と協議をしていきたい。

孫ターンの推進を

佐藤 移住・定住策で孫や血
縁者といった町にルーツのあ
る移住希望者の発掘が必要
だ。

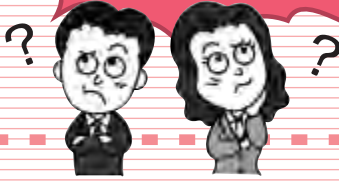
現在は誰でも受入れ、支援
するといった移住策をしてい
る。しかし長期的視野を持つ
と、町にルーツのある移住者
の方が、町に長く住み続ける
確立が高いはずだ。

町長

首都圏などで生活する
若い世代が祖父母の暮らす町
に移り住む「孫ターン」は、
地域住民とのハードルは低い
ものの、就業や起業などのな
りわいづくりで、ある程度の
支援が必要になってくる。
孫にこだわらず、血縁者の
移住も有効な方法であり、関
係人口としてつながりを持
ち、移住を進めていきたい。



あれ



なんとなつたべが!

平成31年3月定例会一般質問より

問

温水プールの指定管理と「ネーミングライツ」契約を進める考えはあるか。

1年前の答弁

指定管理については、利用者ニーズに即したサービスの事業・情報発信など民間のノウハウを活用したメリット部分とコスト削減に目を向くなどデメリット部分もあるので、今後検討していく。命名権についても近隣市町村や多方面において調査、検討したい。

現在

指定管理については、施設利用者増のPRに努め、利用者数の動向を見ながら引き続き検討したい。また、「ネーミングライツ」については、いろいろな課題はあるが、維持費確保の面からも前向きに検討したい。



指定管理が検討される温水プール

問

「ロタウイルス・流行性耳下腺炎」などの任意予防接種に助成金を。

1年前の答弁

保護者の負担を軽減し、感染症から子どもを守るため助成を今後検討する。

現在

ロタウイルスの予防接種は、今年10月から定期接種となり、全額助成となります。流行性耳下腺炎の予防接種は、現在も任意となっていますが、早期の助成実現に努める。

問

職員が手薄な30代、40代の社会人中途採用が必要ではないか。

1年前の答弁

平成17～20年度の期間に職員の採用を控えたため、30代の職員が極端に少ない状況となっている。第4次職員定員適正化計画（平成32～平成36年度）を策定するうえで検討したい。

現在

第4次職員定員適正化計画を3月中に策定予定であり、その計画における採用枠のバランスを考慮した上で、社会人中途採用の枠を設け、第4期計画期間中に実施したいと考えている。

問

県が行った五城目地区の浸水域調査の経過や結果について、町は把握しているのか。

1年前の答弁

国道の冠水を受け実施した原因調査で、内容は地区内の水路の系統確認、冠水状況確認、測量などである。まともり次第、調査結果が報告され今後の対応を協議することになる。

現在

県からの報告により、冠水の原因としていくつかの要因があげられてきているが、具体的な改善策は示されておらず、現在その要因を基に、土地改良事業や新たな排水路の整備計画に向け、検討・協議中であり、より最も費用対効果の上がる内容と補助事業を模索中である。

よび
きてけだな



「ギャラリーで のんびり」

○いつ、どんなきつかけで
五城目へ

5年前まで、香川県の直島という小さな離島で暮らしていました。夫が地元である五城目に帰ってギャラリーをはじめます！と宣言し一足先に五城目に帰っていったので子どもたちと一緒においかけました。



たくさんの絵本が待っています

○五城目で生活していて
感じるこ

以前暮らしていた場所に比べると、少し車を走らせればスーパーや病院、学校にも行けるのは嬉しいですね。

我が家の子どもはよく外に出て走り回っているのですが近所の方々に見守られている安心感があるので本当にありがたいな、と思っています。

○これからに向けて

「ものかたり」はフラットと来て静かに休める場所です。展示してある絵本も自由に読めるし気に入った本は購入も可能です。展示やイベント開催時も気軽に入ってきていただいてOKです。
地域の方々が気楽にのんびりできる場所として進化させていきたいなと思っています。



小熊美奈子さん（新町）
（中央上）

がんばってます

『努力のつみかさね』



五城目小学校6年
八郎潟町ソフトテニス
スポーツ少年団
坂田 真優さん
（畑 町）

1年生の時、父に「何か部活やってみない？」と言われて、八郎潟のスポ少を見学し入部しました。

初めてボールを打った時、なかなか上手く当てる事が出来ず大変でしたが、暑い日も寒い日も努力して大会に出場出来るようになりました。

4年生の秋、予選であと1点のところで負けてしまい、とてもくしかったです。5年生では、絶対に秋田代表になると心に決めました。そして大会当日、きん張の気持ちもありながらペアの子と協力し合い勝ち進んでいきました。

特にきん張したのが準決勝と決勝です。どちらのペアも一度も勝った事のない



成功に向けて練習中

相手でした。決勝相手のペアは毎日一緒に練習している友達で、不思議な気持ちもありながら試合にいきなり、3対2で優勝する事が出来ました。
努力すればするほど成功につながるということが感じられたので、これからもたくさん成功という文字が見たいと思います。

編集

後記



新型コロナウイルス感染拡大による影響が日増しに大きくなっており、当町でも計り知れないものがある。こんな事態は誰も予想できなかったのではないかと。政府は支援策を相次いで打ち出しているが、町としても独自の支えが必要だ。誰も経験したことのない事態に直面している今こそ、町・議会が動く時である。主役である町民や事業所に寄り添い迅速に進めていかなければならない。

○
○
改選後、新人3名を含む7名が『みんなの町議会』の編集を担うことになりました。住民と議会との意思疎通を図り、議会の様子・議員の活動が伝わるよう、分かりやすく親しみやすい広報づくりに努めてまいりますので、どうか手にとっただけですようお願いします。

○
○
まずは、なにより新型コロナウイルスの一刻も早い終息を心からお祈りいたします。

議会広報編集委員会

委員長 荒川 滋 記